

事業活動報告

瑞穂みどりの少年団「子ども樹木博士」

樹木医 小池英憲

- 開催日 平成21年10月17日(土) 曇り
9:00~12:30頃
- 場所 千葉市ガーデンプラザ新検見川、
瑞穂小学校
- 参加者 子ども92名、スタッフ:少年団
指導者17名、樹木医・森林インストラク
ター18名(写真1)



(写真1. 集合写真)

- 主催 瑞穂みどりの少年団
- 共催 (社)千葉県緑化推進委員会、(社)
日本樹木医会千葉県支部、NPO 法人樹の
生命を守る会、千葉県森林インストラク
ター会、ちば里山クラフト研究会
- 開催内容

今年も「子ども樹木博士」事業が、千葉県緑化推進委員会他多くの団体の協力で開催する事が出来た。

本事業の特徴は、午前中で100名近い子供達を順次、樹木説明、試験、認定、クラフト(草笛体験)、花壇の手入れと、盛りだくさんのイベントを自分たちが住んでいる団地の中で全てを行う事である。この催しが無事終了できた要因は、少年団の統制の取れた日頃の活動と、森林インストラクターの積み上げた運営や熟練した樹木医を含む説明者の活躍が

あったからと思う。

樹木説明は学年別に1班10名程度に分けて樹木医、森林インストラクターが工夫をこらした説明を行った(写真2)。今回初めて説明者として回った方もいて、説明後試験を受けて認定書をもらう子どもの姿を見て安心したようだ。



(写真2. 工夫をこらした説明)

なお、今回の大きな特徴は、お揃いの衣装から繰り出される草笛音楽隊の演奏(写真3)である。現場の忙しいプログラムの中で奏でられる音色は、子ども達・スタッフを魅了した。



(写真3. 草笛音楽隊の演奏)

厳しいスケジュールで少々疲れ気味の子供もいたが、子ども達は成績も昨年より上がり、草笛音楽隊が演奏する中で認定書をもらう姿は笑顔がこぼれ満足した表情だった。